

# MLA48

NEWS  
LETTER

2021年5月22日  
No. 203

## MLA48 プロジェクト

131 Members  
108(JA), 23(DX)



### 5月度合同ミーティング(MLA48 通算第159回)

5月22日(土)は、[MLA48プロジェクト](#)と[JHIYMC 横浜みどりクラブ](#)の合同オンラインミーティングを開催。「第94回アンテナ製作プロジェクト」のプチ講演、第3回は「Slinkyダイポールから提灯アンテナの製作まで」。(私)[JG1UNE 小暮](#)が、[開局以来40年間](#)で製作したアンテナを毎回解説しています。

体に給電したら電波は出るのでしょうか?  
伸ばずと電波が出る?

写真2は小型化(低背化)したタイプで、やはり端部給電です。小田原提灯のように伸びたり(写真1)縮んだり(写真2)、いろいろ試してみました。

小川さんは、なんとベランダで7MHz用も実験されていますが、電磁界シミュレーション<sup>※2</sup>で放射効率も計算されています(文献1)。

表1と図1は、10mm径の銅パイプを直径1mで複数回巻いた7MHz用提灯アンテナのシミュレーション結果



ス)とバリコンのC(キャパシタンス)でLC共振させます。一方、提灯アンテナはコイルの自己共振を利用するのでMLAとは動作が異なり、小川さんはヘリカルMLAとも呼んでいます(文献1)。

多巻きコイルの線間には寄生容量が存在しますが、ピッチが狭いほど大きく、巻き数が増えれば合計のCは増えます。共振周波数は式(1)で求められるの

表1 直径1mで複数回巻いた7MHz用提灯アンテナのシミュレーション結果

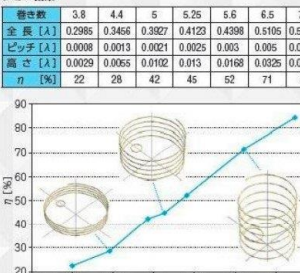


図1 7MHz用提灯アンテナの全長 [A] と放射効率 η [%] の関係



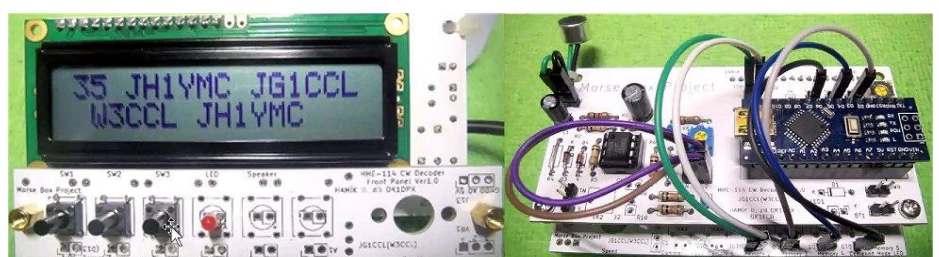
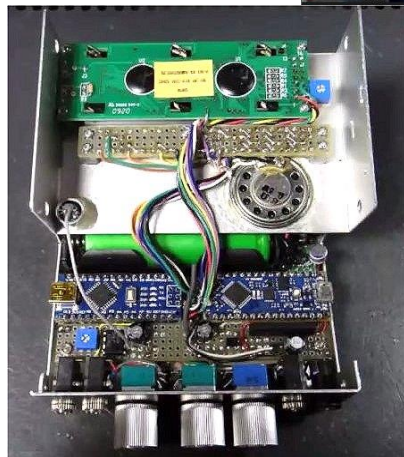
[JG1CCL 内田さん](#)からは、試作を重ねてついに完成した[HHE -114 CW Decoder](#)のデモがご披露されました。また主要部品を先行頒布する企画の説明があり、[町田のサトー電気さん](#)から、各部品の販売が計画されています。

[JK1DUD・JA9BQE/1 橋場さん](#)、[JR1OAO 中島さん](#)、[JI1BNU・JA2IYJ/1 山田さん](#)は、それぞれ試作のテスト結果を寸評されました。

中島さんの試作機は、いつものとおり超コンパクト実装。「開発

CQ ham radio 誌 小型アンテナで楽しもう 連載第6回 2018年6月号 DE JG1UNE

後の検査でバケツの水につけてから引き上げ、水が滴り落ちなかったら合格!?」という某企業ご出身だけあって、圧倒的な集積度です！「よい子はマネをしないように...hi」



台湾から [BX6ABC Henry さん](#)も参加で盛りあがりました。 DE JG1UNE